

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	簡易水道施設改良事業	会計	簡易水道	事業No.	288	施策順No.	45-004
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-2-1-10-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	水道課		
施策	45 居住基盤の向上		事業期間	開始	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	簡易水道事業水道施設						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		簡易水道事業数	21	4	4	4	1	
	意図	適正に簡易水道施設の改良することにより、公衆衛生の向上と生活・事業基盤の向上を図る						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	有収率(%) = 年間総有収水量 / 年間総配水量	81.2	82.6	80.1	84	84	85	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	他事業関連による布設替工事量が多く通常の施設改良工事ができなかった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	他事業に関連した水道施設の移設・布設替え・改良工事及び、簡易水道施設の老朽化等に伴う施設の改良・更新工事を実施することにより、水道法に定められた給水水質を満たした安全安心な水道水を安定定期に供給する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 他事業関連配水管布設替工事 県・市道改良工事関連 2 簡易水道施設改良工事 浄水場、配水池等施設改良	1 布設替工事金額 2 工事金額	1 34,000 2 6,000
23年度実施計画	1 他事業関連配水管布設替工事 県・市道改良工事関連 2 簡易水道施設改良工事 浄水場、配水池等施設改良	1 布設替工事金額 2 工事金額	1 6,600 2 34,100

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		その他	473	1,050		
		一般財源	71,007	61,507	21,500	
		計 (A)	71,480	62,557	21,500	
		正規職員所要時間		800		
		臨時職員等所要時間		400		
		人件費計 (B)		3,291		
		トータルコスト A+B		65,848		

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	居住基盤の満足度 ムトス指標 水道普及率(有収率)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	老朽化した施設、設備の改良を進め重大な事故等を未然に防止し安心安全な水道水を安定的に供給できた。		
	後期に向けた課題	水源水質の悪化した施設、水質基準の強化等により改良の必要な施設が増加している。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	工法検討等によりコスト削減に努めた。		
	後期に向けた課題	他事業関連により配水管等の布設替え工事が発生するため通常改良事業費の確保が課題である。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	工法検討等によりコスト削減に努めた。 使用できる施設、設備は耐用年数が経過しても使用している。		
	後期に向けた課題	耐用年数を経過した施設、設備は不具合を起こすリスクが高くなる。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市民生活に直結する事業であり適切に関与してきた。		
	後期に向けた課題	水道事業は専門技術、知識、経験が必要であり、職員の養成が必要である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	他事業関連改良工事に影響され通常改良工事に影響が出ている。通常改良工事費の確保が難しい状況である。		
	後期に向けた課題	耐用年数を経過した老朽施設の改良等を進める必要があり、また、水源水質の変化により新たな改良工事が必要となっている。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------